

船橋 YMCA 通信



No.27 2005年11月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 FAX：(04)7145-3403



チャリティーラン開催

第8回千葉YMCAチャリティーランは、20チームが参加し、10月15日(土)に夏見台にある船橋市運動公園の特設コースで開催されました。

今年は、朝のうちは少し雲行きがあやしかったのですが、終わる頃には青空がのぞく良い天気となり、参加者一同で大会を楽しむことができました。



《車椅子チームも一緒に『よーい、どん！』》

今回から、シティグループがオフィシャルスポンサーになり、ゴールアーチも新しいものになりました。



《来賓挨拶は船橋市障害福祉課主幹 白井広司氏》

今大会では、障がい者施設の持つジョギングクラブの代走チームや船橋市役所の職員の代走チームが参加し、参加型イベントとしての運動の幅が広がりました。



これは、ユニフォームを新調して大会に臨んだとまりぎジョギングクラブチームのたすきリレーの様子です。



今回のチャリティーランでは、大会終了後、参加していただいた車椅子チームの皆さんの指導のもとに車椅子の体験教室も開かれました。また、協賛フリーマーケットも開催され21店のお店から各店500円の協賛金をいただきました。今回の大会の益金は次号で報告いたします。

サタデースクール苦戦

船橋Y M C Aの新プログラム“サタデースクール”の勧誘ピラを夏見地域の皆さんおよび会場をお借りするシオン幼稚園の父母の皆さんにお配りしましたが、反応はゼロでした。

アンケートでは少しは手ごたえがりましたが、実際にお金を出すととなると難しいものがあるようです。完全にあきらめたわけではありませんが、マーケティングを考え直さなければなりません。

少年自然の家の収穫祭に参加

千葉県長生郡長柄町にある千葉市少年自然の家は、千葉Y M C Aが運営を受託して行っています。5月のオープニングフェスティバルに続き、10月22日(土)に少年自然の家の初めての収穫祭が行われ、Y M C Aグッズを売るお店をだしました。



《ジャガイモにリュックにTシャツはいかが!》

当日は小雨のぱらつくあいにくの天気でしたが、参加した子どもたちは、ザリガニ釣りや紙すき体験そして太い竹を使ったバウムクーヘン作りを楽しんでいました。



《薪の火で炙りながら何層も重ねていきます》

今回の参加者は、主催者発表で655名となり当初の目標を超えるものになったそうです。今回のお店の売り上げは3,350円で、全額を柏Y M C Aのジャガイモキャンペーンに寄付しました。



《おもちをつくのは大変だ! うーん、ぺったんこ》

船橋Y M C A活動記録

船橋Y M C Aの9月、10月の活動記録です。

- ・9月10日(土) そらまめクラブ「あおぞら」
作品: おもしろ版画を作ろう
主材料: スタジオフォーム(発泡材)、絵の具、パレ
参加人数: 6名
- ・9月17日(土) チャリティーラン実行委員会
- ・9月18日(日) わんぱくクラブ9月例会
場所: 国府台~矢切~柴又(帝釈天)
内容: ウォーキング(帝釈天に行こう)
参加人数: 10名
- ・10月8日(土) そらまめクラブ「あおぞら」
作品: カカアの羊の毛でペーパーアート作り
主材料: 原毛、ウール毛糸、洗剤、石
参加人数: 5名
- ・10月15日(土) 第8回チャリティーラン開催
- ・10月16日(日) わんぱくクラブ10月例会
場所: 水代果樹園(南柏)
内容: 秋の収穫祭 キウイとり
参加人数: 13名
- ・10月22日(土) 千葉市少年自然の家収穫祭

編集後記

今年はチャリティーランを開催することができました。1年あいだが空きましたが、これまで支えてくださった方々に再度ご協力をいただいたことに感謝します。ありがとうございました。(横)